

県政の 動き

10月11日(土)～12月10日(水)

- 10月16日(木) ★2014かごしまの新特産品コンクール
- 10月27日(月) ★第19回鹿児島・香港交流会議
- 10月28日(火) 鹿児島県戦没者追悼式
- 10月31日(金) ★ぐりぶー&さくら 出産記者会見
- 11月1日(土)～2日(日) プレ国民文化祭・県民文化フェスタ
- 11月8日(土) 介護ふれあいのつどい
- 11月9日(日) おさかなフェスティバル
- 11月12日(水)～25日(火) ★女性に対する暴力をなくす運動
- 11月15日(土) 14土木フェスタin Kagoshima
- 11月15日(土)～16日(日) 再生可能エネルギーフェア2014
- 11月17日(月) ★京都賞受賞者鹿児島講演会
- 11月18日(火) ★平成26年度県民表彰式
- 11月22日(土) ★楠幸中高一貫教育校 寮見学会・体験授業
- 11月29日(土)～30日(日) かごしまの島々フェア
- 12月3日(水) はやぶさ2/H-IIAロケット 26号機打ち上げ

★は写真入りで紹介

10月16日(木)

2014かごしまの新特産品コンクール



県では、鹿児島県特産品協会、鹿児島市との共催で県内最大の特産品コンクールである「2014かごしまの新特産品コンクール」を開催した。

今年は、156社から合わせて170品のかごしまの新しい特産品が出品され、食品部門、工芸・生活用品部門合わせて22品の優れた商品が入賞した。

審査の他、招待バイヤーの内覧や県立図書館長原口泉氏の歴史セミナー「明治維新をヒントにした商品開発」を併せて開催した。

コンクールを通し、今後さらに商品が磨き上げられ、魅力ある特産品づくりが進むことが期待される。



10月27日(月)

第19回鹿児島・香港交流会議



「第19回鹿児島・香港交流会議」を10月27日に鹿児島で開催した。この会議は、昭和55年に鹿児島で開催して以来、2年ごとに交互の地で開催している。

会議には、本県側から伊藤知事など6人が、香港側からは香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部ウォン首席代表など5人が出席した。

経済、観光、文化、青少年などそれぞれの分野にわたる交流について意見交換が行われ、新たに鹿児島ー香港線の安定的運航確保のための観光交流などの双方の取り組み強化や「国民文化祭・かごしま2015」への香港からの参加への相互協力などについて合意した。



ぐりぶー&さくら 出産記者会見



今年3月に結婚し、7月には子宝の島・徳之島を新婚旅行で訪れた、かごしまPRキャラクターの「ぐりぶー&さくら」。徳之島のご利益か、待望の子どもが誕生した。生まれた子どもはなんと七つ子で、この度、家族揃って県庁内で記者会見を行った。

父親となったぐりぶーが、見た目も性格も個性豊かな七つ子を紹介し、家族全員でぐりぶーダンスを披露。子どもたちにとっては初の公の場となったが、途中で泣き出す子、所狭しと駆け回る子などまさに個性はさまざま。今後は全国でも珍しい「大家族」のPRキャラクターとして、さらなる鹿児島島の魅力発信が期待される。



11月12日(水)～25日(火)

女性に対する暴力をなくす運動



11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」のスタートとして、国際ソープチミスト鹿児島などの皆さんと協力して、鹿児島中央駅前でチラシなどの配布を行い、「女性に対する暴力は、人権侵害であり、決して許されない」と呼びかけた。

また、夜には、女性に対する暴力根絶運動のシンボルでもあるパープルリボンにちなみ、アミュプラザ鹿児島「観覧車アミュラン」や甲突川橋梁(高見橋、西田橋)が紫色にライトアップされた。

期間中は、パネル展やパープルリボンリーの設置、女性のための法律相談、デートDV防止セミナーなど女性に対する暴力をなくすためのさまざまな取り組みを実施した。



11月17日(月)

京都賞受賞者鹿児島講演会



科学・文明の発展などに著しい貢献をした方々に贈られる国際的な賞である「京都賞」の受賞者を鹿児島に招き、講演会を開催した。

今回は、ロバート・サミュエル・ランガー博士(先端技術部門)、エドワード・ウィッテン博士(基礎科学部門)および志村ふくみ氏(思想・芸術部門)の3人が自らの仕事を通じて築き上げてきた人生観や世界観をエピソードを交えながら講演した。

将来の鹿児島を担う高校生や大学生をはじめ、経済団体の関係者や多くの方々、約1800人が参加し、国際感覚や幅広い視野を養う機会となり、文化的・学術的意識の高揚につながった。



平成26年度県民表彰式



前列左から、峰山地区コミュニティ協議会の徳田さん、本坊さん、松清さん、伊藤知事、今村さん、花木さん

県では、県民の福祉に貢献し、特に顕著な功績を挙げられた個人や団体を「県民表彰」として表彰している。

本年度は4人1団体の方々を表彰した。

《教育文化スポーツ部門》

松清 秀仙 さん

〔元鹿児島県書道協会会長、書家〕

長年にわたり書家、県書道協会会長として、書道の普及・発展に尽力されるとともに、鹿児島大学教授として、書写書道教育の指導、書道史の研究に努められるなど、本県教育・文化芸術の振興に大きく貢献された。

《保健福祉部門》

今村 農夫男 さん

〔元社団法人川内市医師会会長〕

川内市医師会会長として、川内市医師会立市民病院などの開設に尽力されるとともに、訪問看護ステーションを開設して在宅医療の充実を図るなど、地域医療や社会福祉の発展向上に大きく貢献された。

《産業経済部門》

本坊 松美 さん

〔鹿児島県酒造組合会長〕

鹿児島県を代表する焼酎メーカー、薩摩酒造株式会社に従事し、長年にわたり焼酎製造に精励される一方、鹿児島県酒造組合会長などの要職にあつて、本県焼酎業界の活性化と経済発展に大きく貢献されている。

花木 常夫 さん

〔元鹿児島県養鶏協会会長〕

鹿児島県養鶏協会会長などとして、長年にわたり県内の養鶏産業の振興に取り組みられるとともに、養鶏事業において消費者に安全・安心な商品を届けるための体制づくりに尽力され、本県産業経済の発展に大きく貢献された。

《社会活動部門》

峰山地区コミュニティ協議会

薩摩川内市内におけるコミュニティ協議会の一つとして、平成17年に設立以来、住民自らが企画・参加し、地域内における観光公園の整備やイベントを開催されるなど、さまざまな取り組みを通じて、本県が目指す共生・協働による地域社会づくりに大きく貢献されている。

楠隼中高一貫教育校

寮見学会・体験授業



平成27年4月に開校予定の楠隼中高一貫教育校「寮見学会・体験授業」を11月22日に開催し、県内外から小・中学生とその保護者ら約570人が参加した。

寮の施設見学では、完成したばかりの寮に児童、生徒の声が響いた。

また、楠隼中高一貫教育校の特色の一つである「シリーズ宇宙」などの体験授業も行われ、参加者はJAXAから招かれた講師や楠隼中高一貫教育校の教諭の話に聞き入り、体験授業終了後も講師を囲んで熱心に質問していた。

また、11月24日には地域住民の方々を対象とした寮見学会も実施され、300人を超える参加者が来校し、地域の期待がうかがえた。

